

農業経営改善計画認定書

アグリラボヤマジ 株式会社

代表取締役 海山 鐘二 様

あなたから令和二年二月十日に認定申請のあった農業経営改善計画は農業経営基盤強化促進法（昭和五十五年法律第六十五号）第十二条第一項の規定により適当であると認定します

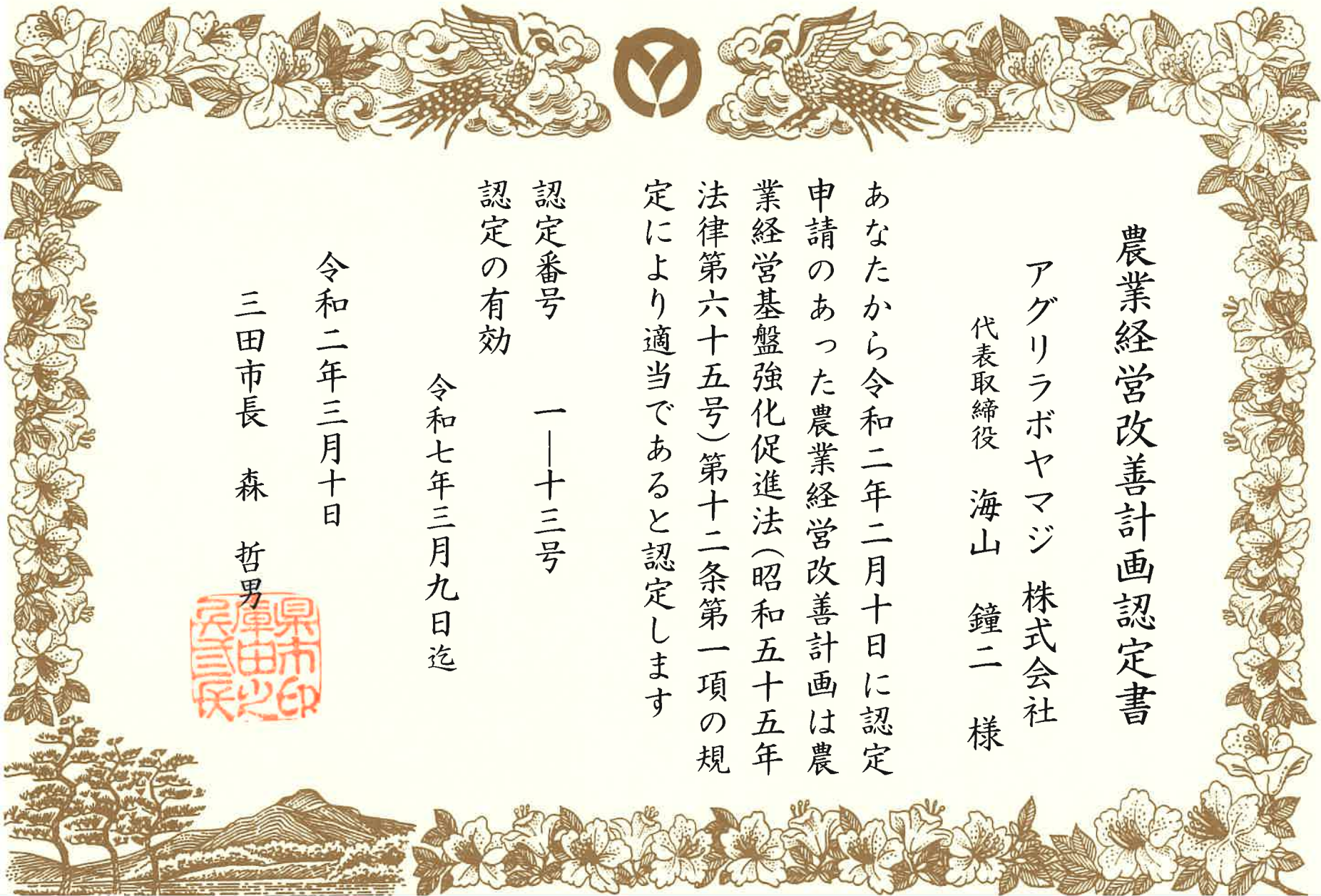
認定番号 一—十三号

認定の有効

令和七年三月九日迄

令和二年三月十日

三田市長 森 哲男



(公印省略)  
三農創第864号  
令和2年3月10日

アグリラボヤマジ株式会社  
代表取締役 海山 鐘二 様

三田市長 森 哲 男

農業経営改善計画認定について（通知）

標題の件について、三田市農業経営改善計画認定要綱第2条第2項の規程に基づき、認定したので通知します。認定書及び農業経営改善計画認定申請書は融資を受ける際に必要となりますので、大切に保管してください。

記

認定番号	1-13号
認定日	令和2年3月10日付
認定計画	別紙「農業経営改善計画認定申請書（写し）」のとおり

別記様式  
(一般用)

農業経営改善計画認定申請書

令和2年 2月 10日

三田市長 森 哲男 殿

申請者住所 三田市沢谷字畑田200番1  
氏名 アグリラボヤマジ株式会社  
代表取締役 海山 鐘二



<法人設立年月日 平成30年 9月25日設立>

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項（農業経営基盤強化促進法施行規則（昭和55年農林水産省令第34号）第13条）に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

なお、この農業経営改善計画に記載した事項については、国、県、三田市における補助事業あるいは関連する農業施策の実施推進に使用する限り、三田市農業再生協議会の会員組織並びに兵庫県担い手育成総合支援協議会の会員組織に提供することを同意します。

農業経営改善計画					
①目標とする営農類型	水稻、施設野菜、露地野菜、施設いちご				
②経営改善の方向の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ企業が三田市池尻地区と20年以上にわたり関わりを持ってきたこともあり、高齢化が進む同地区周辺への地域貢献、グループ社員の永年雇用、福利厚生などを目的として、水稻、野菜、いちごの栽培を主軸として、農業生産法人を設立した。</li> <li>・周辺農家のからの農地委託要請や売却要請も寄せられており、可能な限り対応し、法人としての規模拡大を進め、採算性を高めていきたい。</li> </ul>				
	(年間農業所得および年間労働時間の現状および目標)				
		現 状		目 標 (令和7年)	
	年間農業所得	223	千円	5,000	千円
年間労働時間	1,533	時間	1,933	時間	
③農業経営規模の拡大に関する目標	作目・部門名	現 状		目 標 (令和7年)	
		作付面積 (a)	生 産 量 (kg)	作付面積 (a)	生 産 量 (kg)
	水稻(コシヒカリ、山田錦)	0	0	300	15,900
	施設いちご	3	700	10	2,200
	小松菜	10	1,000	14	1,400
	ラディッシュ	10(2~3回転)	1,200	14	1,680
	ミニトマト	0	0	8	1,600
経営面積合計	23		346		

③ 農業経営規模の拡大に関する目標	経営耕地	区分	地目	所在地 (市町村名)	現状 (a)		目標 (令和7年) (a)	
		所有地	田	宝塚市	54.8		100	
			田	三田市	0		100	
		借入地	田	三田市	31.4		146	
	特定作業受託	作目	作業	現状 (a)		目標 (令和7年) (a)		
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量	
	作業受託	作目	作業		現状 (a)		目標 ( 年) (a)	
		単純計						
換算後								
その他の関連・附帯事業	事業名	内容		現状		目標 ( 年)		
④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名			型式、性能、規模等及びその台数			
					現状		目標 (令和7年)	
		トラクター			55ps 1台		55ps 1台	
		耕うん機			1台		1台	
		田植機			4条 1台		6条 1台	
		コンバイン			4条 1台		6条 1台	
		乾燥機			斜流式2.7t 1台		斜流式2.7t 1台	
		糶摺り機			1.4t/h 1台		1.4t/h 1台	
		計量器			1.8t/h 1台		1.8t/h 1台	
		動力噴霧器			1台		1台	
軽四貨物			1台		1台			
いちご高設栽培設備			456m		1,368m			
いちご棟自動灌水設備			ドサトロン 1式		ドサトロン 4式			
いちご棟自動カーテン			大仙 1式		大仙 4式			
いちご棟暖房設備			KA-205E 1基		KA-205E 4基			
いちご棟オイルタンク			BOT-200 1基		BOT-200 2基			
野菜高設砂栽培設備			384㎡		1,000㎡			
野菜棟自動カーテン			大仙 1式		大仙 3式			
野菜棟循環扇			NK-30LTA 3基		NK-30LTA 5基			
ガラスハウス (賃貸)			9棟 2,022㎡		9棟 2,022㎡			
倉庫・作業場 (賃貸)			175.2㎡		175.2㎡			
野菜ビニールハウス					500㎡×2棟			

④生産方式の合理化に関する目標	農用地の利用条件	現状 15a～25a区画中心	目標(令和7年) 基盤整備済みの30a以上の区画のは場の連担化により、農地の面的集積を行う。	
	作目・部門別合理化の方向	作目・部門名	現状 目標(令和7年)	
		水稲	追肥は状況により2回程度	追肥方式の省力化
		野菜	ガラスハウスによる高設砂栽培方式にて、当面は試験的に20品目程度生産	生産性、販売効率、病害虫対策などを総合的に判断して10品目程度に絞る
	施設いちご	発育不良や病害虫などの影響で歩留まりが悪い	生産管理を徹底し、歩留まりを上げて収益性アップを図る	
⑤経営管理の合理化に関する目標		現状 農業法人を設立して2年目ということもあり、何から何まで手探り状況で日々の業務をこなしている状態 税理士による帳簿管理を実施	目標(令和7年) 社員の役割分担の明確化や技術力向上、作物の生産性向上をさらに追及 税理士による帳簿管理を継続	
⑥農業従事の態様等の改善に関する目標		目の前の作業に追われる日々を送っており、作業ルーティーンが定まらない	作業ルーティーンを決めて、スタッフのシフト制を早期に定着させる	
⑦目標を達成するためにとるべき措置	経営改善の目標 生産方式の合理化	措置 水稲については、農地の集積化を進め、追肥など各工程の作業効率を上げる。  野菜については、来年度中に取得予定の隣接地(田)に、無利子の融資や補助事業を活用して、ビニールハウス2棟を新設し、大仙の自動カーテンシステムや循環扇(ドライファンはやて)など、既存同等の設備を導入し、ハウス内の温度湿度管理、砂のpH値、EC値の管理、病害虫に対する予防、早期駆除など、発育環境の整備を徹底し、生産性及び歩留まりアップを図る。また従事者のスキルアップのため、専門家から指導を受ける機会を設ける。  いちごについては、無利子の融資や補助事業を活用して未使用のガラスハウスを改修する。既存ハウスでも使用している、ネポン製暖房機や大仙の温調自動カーテンシステム、循環扇(ドライファンはやて)などを新設し、外気や天候に注意しながら、ハウス内の温度湿度管理、日照管理、病害虫対策として農薬の選定、散布のタイミングや量などを専門家の意見を聞きながら適切に対応し、生産性アップを図る。そのためにも従事者のスキルアップを目指す。  各工程のマンパワーを算出し、従事者のシフト制による勤怠管理に反映させ、作業ロスを削減する。  各品目の原価管理を明確にするため、現行のエクセルによる管理表を日々ブラッシュアップさせていく。		
	経営管理の合理化			

(参考) 農業労働力	氏名 (家族農業従事者及び農業生産法人の構成員)	年齢	経営者との続柄等	年間農業従事者日数(日)			
				現状		見通し	
	海山 鐘二	56	代表者	250		250	
	上野 登志雄	72	役員	50		200	
	川上 信隆	72	役員	250		250	
	藤本 治範	52	役員	50		200	
	福本 秀一	71	役員	300		300	
	海山 理恵	25	社員	250		250	
	常時雇(年間)		実人数	現状	1 人	見通し	2 人
	臨時雇(年間)		実人数	現状	2 人	見通し	3 人
延べ人数			現状	2 人	見通し	5 人	
(参考) 他市町村の認定状況		認定市町村名		認定年月日		備考	